

1 学校教育目標 心豊かに、たくましく生きる子の育成

2 教育方針 チーム河井で No.1 をめざし ベストをつくそう  
～令和5年度チーム河井の合言葉～

- チーム河井で：児童相互 職員相互 児童と職員 お互いに励ましサポートする
- No.1 をめざし：奥能登で一番多い児童数だけでなく、自他にとってよりよい学校をつくらうとする具体的な目標とする。
- ベストをつくそう：学校生活全般で「主体的に学習に取り組む態度」の「粘り強い取組を行おうとする側面」を育成する。

3 学校づくりの基本理念

- ・学校は、子どもたちにとって「学んだことが身につく場」である。
- ・学校は、子どもたちにとって「人としての生き方を学ぶ場」である。
- ・学校は、地域の中にあって「家庭と地域と連携して子どもたちを育てる場」である。

4 目指す児童像

- 【明るくたくましい子】思いやりの心を持ち、当たり前のことが当たり前に行動できる子③
- 【よく考えやりとげる子】学習規律を大切にし、聴いて考え、伝え合い、根気強く取り組む子⑤
- 【協力し進んでやる子】みんなのために、自分から、積極的に活動する子②

5 目指す教師像

- ・教育公務員として自覚ある言動を行う教師
- ・率先垂範により範を示す教師（チーム河井 職員と児童）
- ・学び合い、高め合う教師（チーム河井 職員相互）
- ・適切なコミュニケーションにより、他者と信頼関係を築くことができる教師④
- ・確実に共通実践できる教師⑦

6 具体的取組

- ① 「チーム河井で No.1 をめざし ベストをつくそう」を学校生活全般で具現化する
- ② 特別活動の話し合いの充実（手順やルールを理解）
- ③ 児童が自分で決定し、任される（よいと思うことを進んで行う）場面を設定する
- ④ 「事実の確認」「話を聴く」「納得」に基づいた生徒指導及び保護者対応
- ⑤ 学習用具の整理整頓と時間の自己管理
- ⑥ 相手に伝わる声の大きさ、目を合わせて聴こうとする態度
- ⑦ 児童と取り組みと検証結果を共有した学力向上プランの共通実践
- ⑧ 数直線及び線分図の系統の理解と確実な定着を図る
- ⑨ 教育活動をSDGsの視点で捉え直し、具体的な学びへ